
ふっかつのじゅもんがちがいます

ぐるぐる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ふっかつのじゅもんがちがいます

【Nコード】

N4371Z

【作者名】

ぐるぐる

【あらすじ】

自作の水平思考推理問題をショートショート風に直してみました。

魔王城のお話ですが、魔王は特にでてきません。

この城に来るのは何回目になるだろうか？ 両手も指では数え切れまい。

「魔王城」

初めてこの城挑んだ時、私はまだ子どもだった。そのときから、一緒にこの城に挑んできた弟たちは今はもういない。そのかわりに俺の隣に立つのはまだ幼い私の息子だ。

残念ながら、今回が私にとって最後の冒険になるだろう。私はついに魔王を倒すことができなかつたのだ。

感慨深げに城内を眺める。

魔王の間は近い。それは最後の時が近付いていることを意味している。私にとっての、そして魔王にとっての最後の時。

そう、私の息子は魔王を倒すだろう。

彼は、剣に選ばれたのだから。

「ここ『なるうランド』は、ファンタジーをテーマにしたアミューズメントパークだ。」

「魔王を倒す「魔王城」は、私が子供のころにできた非常に人気のあるアトラクションだった。しかし、時は流れ、ついにここも今週一杯で撤去されるというニュースが流れた。」

そんなニュースに懐かしさを覚えた私は家族を連れて久しぶりに遊びにやってきた。今週で撤去されるのがわかっているからなのか、客の並びはそんなに悪くない。ただし、子供向けのアトラクションにも関わらず、子供の姿はあまりない。子供たちは最新のアトラクションのほうがいいのだろう。いやそれとも私のような懐古的な客が多いのだろうか。

このアトラクションの見せ場はなんといっても魔王との対決だ。最後に剣を振って魔王を倒す勇者役が、参加する子供たちの中から選ばれる。私は昔、この役に選ばれてくて仕方がなかった。

だが、私は残念ながら選ばれることはなかった。いや、選ばれるはずがなかったのだ。

なぜなら、今思えばその選考基準が一番幼い子供だったのだから。いつも弟たちと一緒に入ってた私が選ばれるはずはなかった。大人になってしまった今はいうまでもない。

古くなった城をみながら、そんな昔のことを思い出す。いや、おじさんになるとすぐ感傷的になっちゃうもんだな。そんな自分に苦笑していると、盗賊風の服を着た案内係の姉ちゃんが「そろそろ魔王の間が近付いてきたようですよ」と、いつもの台詞を告げた。さて、そろそろ勇者役の決定だな。

そこまで考えたところで、俺は今頃になって大事なことに気付いたのだ。

そう、今回のグループには私の息子以外子どもが居ない。

良い思い出が出来るな。そんなことを思いつつ、私は撮影可能かどうかパンフレットを見直すことにした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4371z/>

ふっかつのじゅもんがちがいます

2011年12月15日01時49分発行